

情報公開文書

1.研究タイトル	AED 要請アプリケーション導入効果の検証(パイロット研究)
2.研究概要及び目的	心停止に陥った方を救命するためには、迅速に AED(自動体外式除細動器)を用いて電気ショックを行う必要があります。しかし、実際には多くの事例で AED が使われていません。そこで、心停止患者が発生した際、患者の周辺にいる市民に、心停止の発生場所と、周辺の AED の場所をスマートフォン上に表示するアプリケーション AEDGO を開発しました。本研究は AEDGO が導入された尾張旭市、柏市において、アプリケーションの効果や問題点を明確にすることを目的としています。
3.研究期間	2015 年 11 月 6 日から 2026 年 3 月 31 日(10 年間)
4.倫理審査	本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。
5.フィールド	愛知県尾張旭市、千葉県柏市
6.研究の対象	対象 :尾張旭市(2017 年 1 月 1 日~2024 年 12 月 31 日)、千葉県柏市(2019 年 8 月 5 日~2024 年 12 月 31 日)において発生した心停止及び、心停止が疑われた事例 対象 :AEDGO に登録された方
7.取り扱うデータ	対象 :救急業務に関する記録、消防の通信指令記録 対象 :心停止情報を受け取った際の位置情報、AEDGO を使用した感想
8.期待される成果	心停止現場へ迅速に AED を運ぶシステムを確立することで、心停止患者の救命率向上が期待できます。
9.個人情報保護の仕組み	本研究において研究者が直接個人情報を扱うことはなく、尾張旭市消防本部及び柏市消防局にて厳重に保管されます。
10.了解を求める事項	尾張旭市消防本部及び柏市消防局が通常業務の範囲内で収集している、AEDGO に登録された方に関する情報、心停止患者に関する情報を収集させていただきます。
11.研究終了後のデータ取り扱いについて	集められたデータは、論文として発表してから、少なくとも10年以上電子データとして保管します。
12.研究参加の取りやめについて	本研究でのデータ利用を望まれない場合には、研究プロトコルに記載されております窓口までご連絡ください。ご連絡を受けた場合、それ以降その方のデータを本研究に用いることはありません。
13.研究資金・利益相反について	本研究は、令和 1 年度救急振興財団「救急に関する調査研究助成事業」及び Laerdal Foundation からの研究助成金を用いて実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。
14.研究機関及び研究責任者	研究機関:京都大学 研究責任者:京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター 石見 拓 教授

	<p>共同研究機関:</p> <p>株式会社ドーン</p> <p>尾張旭市消防本部</p> <p>柏市消防局</p> <p>株式会社富士通ゼネラル</p> <p>一般財団法人日本AED財団</p>
15.研究の問い合わせ先について	<p>対応窓口: 京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター</p> <p>担当者: 木口 雄之</p> <p>連絡方法: (Tel) 075-753-2426</p>
<p>研究プロトコルリンク</p>	